

第14回通常総会

平成27年度の通常総会

みなさまのお力添えをいただき、平成27年度の通常総会を無事に終了することができました。ありがとうございました。総会後の交流会では“子どもの国の未来について”スタッフが集い、ワークショップを実施しました。



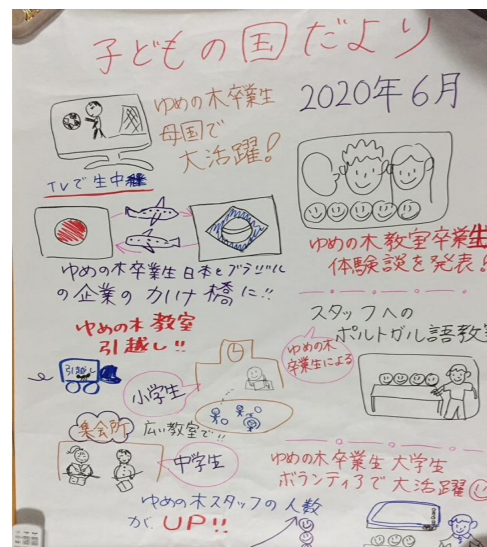
Aグループ

「ゆめの木教室」卒業生
子どもの国の会員に！
ボランティアとしても参加してくれる
ようになりました。

保護者の日本語力UP☆



Cグループ



2020年版子どもの国だより

Bグループ

新体制確立

- ① 全国子どもの国カレッジ開催
→指導者の育成/質の向上
- ② 活動場所の確保
→学校
- ③ 日本社会でのリーダーを育成
- ④ 目指せオール5

委託金に頼らない経営基盤を構築

- ・地域（保護者）を取り込む
- ・行政、企業への働きかけ

Dグループ

読み聞かせボランティア

本が好きな子は学習能力が高い！！

魅力のある居場所作り
居場所があると安心感もUP

できないことをできるに！
できなかったことができるようになる
と意欲が高まるのではないか



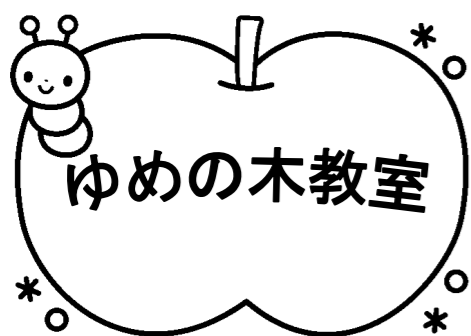
子どもの国 だより

2015年10月発行 Vol.33

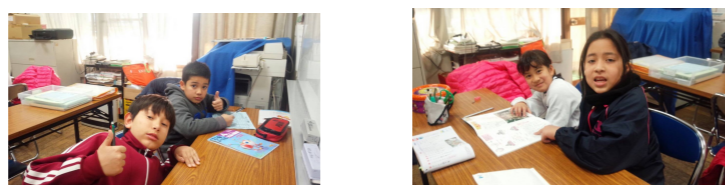


- 放課後学習支援事業「ゆめの木教室」
小中学生：月曜日～金曜日 午後2時～6時
- 青少年の健全育成のための事業
問題を抱えた子どもとその家族に対し
随時相談・援助を行なう
- 青少年の自立支援事業「そら」
水曜日：午後6時30分～8時30分
- 交流会 年4回開催





「ゆめの木教室」ではスタッフ間で子どもの様子を共有するため、毎日メールで報告を行っています。
平成 27 年 ある日の「ゆめの木教室」報告



- 1年：丁寧に書こうとする意識はたいせつですが、時間をかけすぎています。
- 1年：音読「サラダでげんき」は2回読むのが嫌なのか1回で終えようとしたり、2回目の途中ですぐやめてしまおうとします。計算はおおかたできますが、やはり文章題になるととんちんかんなことをしています。連絡帳に学校からの連絡が書いてありますが、保護者の方はほとんど読んでいない気がします。
- 2年：宿題の漢字ドリルをなかなか進みませんでした。隣のLが帰った後進みました。
- 2年：宿題もゆめの木の課題もあまり休憩せずにやれました。九九の7の段を覚える練習中です。ゆめの木漢検も正解が増えました。
- 3年：やるべきことはやれます。ゆめの木漢検の練習もさっさと終わりますが、全く覚えてないのが心配です。ちょっと練習させチェックしたらすぐできるので、毎日来てほしいものです。
- 3年：真面目に学習を進めています。算数の余りのある割り算は、少しずつ速くできるようになっています。
- 3年：余りのある割り算をずっと九九表を見ながらしていたので、半分は自分でしなさいと言ったところ、2～3問の間違えはありましたが、ほぼできていました。
- 4年：理科85点、国語75点のテストを持ってきました。理科はほとんどできていましたが、国語は漢字はできていましたが、読解ができていません。問題文を3回は読んでゆっくり落ち着いて考えなさい。」と助言しました。「難しいと思い込んではいけません。」とも
- 5年：算数プリント「式と計算」は。間違えを直したり、問題を解いたりして考え方ややり方が分かるようになりました。
- 5年：課題の量が多く大変でしたが、最後までやりました。
- 5年：3桁×3桁の掛け算の筆算と漢検の8・9級の読みを一生懸命やりました。
- 6年：終了時間を決めておくモチベーションを維持したまま学習できます。このままの姿勢でいてほしいものです。



平成 27 年度の「そら」は青少年たちが集まり、仕事・子育て・進路など日ごろの悩みを話し合っています。中学生も「ゆめの木教室」の学習時間だけでなく「そら」の時間帯にもがんばって学習に取り組んでいます。



高校卒業後の進路選択の一つとして、美容師や歯科衛生士などの専門学校への進学を希望する青少年が増えてきました。しかし、専門学校へ進学するためには、高額な入学金や授業料が必要です。国の奨学金制度などに申し込んでも、借り入れができず、一年間働いてから専門学校に入学する予定の青少年がいます。頑張って夢をつかんでもらいたいです。

「そら」の青少年たちの今

一人暮らしで学んだこと

今年の10月から一人暮らしを始めました。家を出てみて親や家族のありがたみが身にしみて分かります。これまで学費や生活を親に頼りっきりだったので、一人で生活していく厳しさを知りました。一人の自立した成人としてがんばっていききたいです。

英語環境の職場で気づいたこと

アパレル関係の仕事始めて2年がたちました。毎朝5時に起きて名古屋の職場まで通っています。仕事の内容は毎回英語で書かれたものを読んで理解しなければいけないのでとても大変です。仕事内容の英文は分からないことも多いですが、ポルトガル語と似た単語や表現があったり、図や写真をヒントにしたりしてなんとか理解しています。中学・高校で勉強した英語が役に立っています。



中学生になると部活などで忙しくなるので十分に学習する時間を作ることが難しい。短時間で集中して学習に取り組む効率的な学習方法を身につける必要があると感じている。「ゆめの木教室」保護者



学校に行っている時、良い成績をとる子と自分とでは何が違うのか考えたことがある。彼らには目標がありそれに向かって一生懸命頑張っていた。目標を持つことは前に進む重要なモチベーションになると思った。 「ゆめの木教室」



「ゆめの木教室」は、毎日、とても賑やかです。

西保見小学校・東保見小学校・保見中学校の子どもたちが、それぞれの学校から元気に集会所へ帰ってきます。

子どもたちの保護者は日本で永住権を取得し、子どもたちが日本の高校や大学に進学することを望んでいます。子どもたちの二つのことばの力を伸ばすため、家ではポルトガル語やスペイン語を話し、集会所は日本語を話すように声かけをしています。

